

静岡県月例経済報告

(令和4年9月号)

……令和4年7月を中心とした県内経済のすがた……

No. 557

—静岡県経済産業部—

目 次

I	静岡県経済の概況	1
II	静岡県主要経済指標の概況	8
	・ 需要面	8
	・ 生産面	16
	・ 雇用面	18
	・ その他	21
III	静岡県主要産業の動向	25
IV	データからみた県内主要産業	28

利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL) <https://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>

I 静岡県経済の概況

〔 本稿は、令和4年7月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。 〕

概況

令和4年7月を中心とした静岡県の景気は、新型コロナウイルス感染症等の影響から供給面の制約が残るものの、基調としては持ち直している。

先行きについては、全体としては持ち直しの動きが期待される一方、新型コロナウイルス感染症の動向に十分注意する必要があるほか、物価高騰等が及ぼす影響に留意する必要がある。

雇用情勢は、改善の動きが続いている。

- ・ 個人消費は、持ち直しの動きがみられる。
- ・ 設備投資は、持ち直している。
- ・ 輸出は、おおむね横ばいとなっている。
- ・ 生産は、持ち直しの動きがみられる。

(下線部は前月からの変更箇所)

需要面

「個人消費は、持ち直しの動きがみられる」

大型小売店販売額(7月)は、スーパーが4か月連続で前年実績を下回ったものの、百貨店が5か月連続で前年実績を上回ったため、総額でも2か月ぶりに前年実績を上回った。

専門量販店等販売額(7月)は、家電大型専門店、ホームセンターがいずれも2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、コンビニエンスストアが4か月連続、ドラッグストアが15か月連続で前年実績を上回ったため、総額でも7か月連続で前年実績を上回った。

自動車(新車)新規登録台数(7月)は、乗用車が11か月連続、軽自動車が13か月連続で前年実績を下回ったため、総数でも13か月連続で前年実績を下回った。

「住宅建設は、前年を上回った」

新設住宅着工戸数(7月)は、持家が7か月連続、分譲住宅が5か月ぶりに前年実績を下回ったものの、貸家が2か月連続で前年実績を上回ったため、総数でも4か月ぶりに前年実績を上回った。

「公共投資は、前年を下回った」

公共工事請負金額(7月)は、4か月連続で前年実績を下回った。

「設備投資は、持ち直している」

日銀短観(6月調査)の令和4年度の設備投資(含む土地投資)(計画)は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加する計画となっている。

また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資(除く土地投資)(計画)は、製

造業、非製造業、全産業においていずれも増加する計画となっている。

着工建築物床面積（非居住用）（7月）は、2か月ぶりに前年実績を上回った。

「輸出は、おおむね横ばいとなっている」

「輸入は、前年を上回った」

輸出総額（7月）は、自動車の部分品が6か月ぶりに前年実績を下回ったものの、原動機が5か月連続、エアコン、自動車、科学光学機器がいずれも2か月連続、二輪自動車類が9か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも2か月連続で前年実績を上回った。

また、輸入総額（7月）は、自動車の部分品が5か月連続で前年実績を下回ったものの、魚介類及び同調製品、紙類及び同製品がいずれも4か月連続、木材が17か月連続、パルプが16か月連続、原動機が18か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも18か月連続で前年実績を上回った。

なお、輸出入のバランスは、1,087億円の輸出超過となった。

生産面

「生産は、持ち直しの動きがみられる」

鉱工業生産指数（7月）は、業種別にみると、電気機械が13か月ぶり、輸送機械が2か月連続で前年水準を上回ったものの、はん用・生産用・業務用機械、化学がいずれも6か月連続、パルプ・紙・紙加工品が15か月ぶり、食料品・たばこが2か月ぶりに前年水準を下回ったため、総合でも2か月ぶりに前年水準を下回った。また、前月比は2か月ぶりに減少した。

なお、鉱工業在庫指数（7月）は、総合では2か月ぶりに前年水準を上回った。

雇用面

「雇用情勢は、改善の動きが続いている」

有効求人倍率（7月）は1.31倍となり、前月と同水準となった。5か月連続で全国値を上回った。

雇用保険受給者実人員（7月）は、14か月連続で前年実績を下回った。

また、所定外労働時間指数（6月）は、7か月連続で前年実績を上回った。

その他

「金融環境は、貸出残高は前年を下回り、信用保証金額は前年を上回った」

県内金融機関の貸出残高（7月）は、前年同月比 0.6%減と前年実績を下回った。

信用保証協会保証金額（7月）は、前年同月比 165.5%増と前年実績を上回った。

「企業倒産は、件数、負債総額のいずれも前年を上回った」

企業倒産（8月）は、月件数は9件（前年同月比 12.5%増）、負債総額は2,080百万円（同 149.1%増）と、いずれも前年実績を上回った。

<トピックス>

令和4年台風15号に伴う制度融資 「中小企業災害対策資金」・「農林水産業災害対策資金」

令和4年度台風第15号に伴い、県内の中小企業及び農林水産業者を対象に、資金の貸付を実施します。

「中小企業災害対策資金」

項目	内容	
	直接被害	間接被害
対象被害	事業用建物、設備、備品、商品等に実被害を受けたもの	実被害以外の影響で1か月間の売上が前年同月比で10%以上減少した又は減少する見込みのもの
資金使途	災害復興に必要な設備資金、運転資金	運転資金
保証料率 (保証料補助後)	(県内全域)普通保証：0.15%～0.60% (23市町)SN4号：0.00% ※	(県内全域)普通保証：0.30%～1.30% (23市町)SN4号：0.60% ※
融資利率及び 利用する保証	年1.6%：普通保証（県内全域） 年1.5%：SN4号（23市町）※	※近日中に告示
融資限度額	5,000万円	
融資期間	10年以内（据置期間1年以内）	
取扱期間	令和4年9月27日からSN保証4号の適用期限（告示日から3ヶ月後）まで	
お問い合わせ先	商工金融課（054-221-2525）	

「農林水産業災害対策資金」

項目	内容
対象被害	令和4年台風第15号に伴う大雨等による災害（対象地区：全県）
対象者	1 被災後1月間に農林水産業による総収入額（以下「農業等収入額」という）が、被災前5年間の各年の被災後1月間に相当する期間における農業等収入額について、最大及び最小の年を除いた各年の農業等収入額の合計額を3で除して得た額と比較して10パーセント以上減少した者 2 農林水産業に係る被害額が20万円以上の者
資金使途	・経営安定のための運転資金 ・生活維持に必要な資金
融資利率	0.60%（令和4年9月20日現在） * 県の利子補給承認時と融資機関の貸付実行時を比較して低い方の利率を適用
償還期限	5年以内（うち据置期間1年以内）
融資限度額	・運転資金：個人1,000万円、法人2,000万円 ・生活維持資金：個人300万円
取扱金融機関	静岡県信用農業協同組合連合会、県内の農業協同組合、東日本信用漁業協同組合連合会静岡支店
償還方法	元本均等年賦償還
取扱期間	令和4年9月27日から令和5年3月31日まで
お問い合わせ先	農業：農業ビジネス課(054-221-2629) 水産業：水産振興課(054-221-2694) 林業：林業振興課(054-221-2667)

県制度融資

「新型コロナウイルス感染症対応伴走支援特別貸付」

早期の経営改善等を行うため、**金融機関の継続的な伴走支援を受けながら、経営行動計画に取り組む融資を実施**しています。

10月1日から、融資限度額を6,000万円から1億円に上げます。

項目	内容
資金使途	設備資金・運転資金・借換資金
融資要件	次のどちらかに該当する中小企業者 ①新型コロナウイルス感染症により、直近1～6か月間の売上高が前年同月比15%以上減少し、かつ今後2か月間を含めた3か月間の売上高が前年同期比15%以上減少する見込み ②直近1か月間の売上高が前年同月比5%以上減少し、かつ前年同月の売上高が令和2年1月29日時点（新型コロナ前）における直近決算の月平均と比較して15%以上減少している
融資限度額	1億円 【10月1日から引上げ 6,000万円→1億円】
融資期間	10年以内（据置期間：5年以内）
融資利率	1.60%（普通、セーフティネット5号） 1.50%（セーフティネット4号）
保証料率	（普通） 0.20%～1.15% （セーフティネット4号・5号） 0.20%
その他条件	・セーフティネット4号・5号の場合、市町の認定が必要 ・経営行動計画を作成し、金融機関が伴走支援
取扱期間	令和3年4月1日～令和5年3月31日

お問い合わせ先

県内金融機関
 商工金融課（054-221-2525）

<トピックス>

事業継続・強化

燃油・飼料価格高騰による購入費用の増加に対する助成

令和4年6月補正で、燃油・飼料価格高騰に対する対象期間を拡大しました。申請等に関する詳細は、順次公開しますのでご確認ください。

荒茶工場燃油価格高騰緊急対策事業費助成	区分	内容	お問い合わせ先
	対象者	茶工場	お茶振興課 054-221-2674
	対象経費	基準価格を超えた燃油代	
	補助率	1/2以内	
	対象期間	令和4年4月～10月	
	申請先	県内各農業協同組合	
申請期間	令和4年8月29日～11月30日		
飼料価格高騰緊急対策事業費助成	区分	内容	お問い合わせ先
	対象者	畜産農家	畜産振興課 054-221-2706
	対象経費	基準価格を超えた飼料代ほか	
	補助率	1/2以内	
	対象期間	令和4年7月～9月	
	申請先	静岡県配合飼料価格安定基金協会等	
	申請期間	令和4年12月～令和5年1月(予定)	
備考	自家配合飼料を使用する畜産農家(国のセーフティネット制度未加入者を含む)も対象		
漁業用燃油価格等高騰緊急対策事業費助成	区分	内容	お問い合わせ先
	対象者	漁業者、養殖業者	水産振興課 054-221-2695
	対象経費	基準価格を超えた燃油代、飼料代	
	補助率	1/2以内	
	対象期間	令和4年7月～9月	
	申請先	静岡県漁業協同組合連合会	
申請期間	7～9月分：令和4年11月1日～12月9日		

国のセーフティネット制度に加入することが要件です。

<トピックス>



World O-CHA(Tea)Festival 2022, Shizuoka, Japan

世界お茶まつり 2022

入場
無料

OCHAで元気な笑顔!



秋の祭典

2022年10月20日(木) - 10月23日(日)

10:00 ~ 16:00 (20日(木)は12:00 ~ 開場)

会場: 静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」

産業 Industry

- **ワールドO-CHAマーケット**
オンライン:
9月20日(火)~11月25日(金)

1F 大ホール「海」 3F ロビー 屋外 インターロッキング
- **テイस्टングフェスティバル** 有料
10月22日(土)・23日(日)
2F 中ホール南ホワイエ
- **まるのみしずおか** 有料
3F 大ホール南ホワイエ
- **日本茶AWARD** 一部予約制
1F 大ホール南ホワイエ
- **ChaOプロジェクト**
1F 大ホール「海」

文化 Culture

- **世界大茶会** 有料
3F 大ホール北ホワイエ 3F ロビー
6F 展示ギャラリー
- **アウトドアフィールド** 一部有料
屋外 芝生広場
- **Cha-1グランプリ in 世界お茶まつり2022**
10月22日(土)
11F 会議ホール「風」
- **世界の路上茶屋** 有料
屋外 南側通路
- **日本茶ドキュメンタリー映画**
10月23日(日)
2F 映像ホール
- **SweetTEA ペアリング**
6F 交流ホール
..... 有料

学術 Arts and sciences

- **茶の機能性シンポジウム** 有料
10月23日(日)
11F 会議ホール「風」
- **世界緑茶会議2022** 一部有料
10月20日(木)・21日(金)
9F 会議室 11F 会議ホール「風」
- **静岡健康・長寿学術フォーラム** 事前予約制
10月21日(金)
10F 会議室 11F 会議ホール「風」
- **産業・文化・学術セミナー** 一部有料
9F 会議室
- **静岡茶の世界を考える
懇話会シンポジウム他** 予約制
シンポ・研究成果展示:10月20日(木)
生活文化展示:10月20日(木)~23日(日)
6F 展示ギャラリー 10F 会議室

同時開催プログラム

- ✓ **ブックフェスタしずおか**
10月22日(土)
屋外 芝生広場 1F 中ホール「大地」
一部有料 予約制
- ✓ **山本高広×みかん
お茶らけモノマネライブ**
10月23日(日) 1F 中ホール「大地」
有料 予約制
- ✓ **第10回
静岡市お茶まつり**

グランシップの駐車場には限りがあります。
公共交通機関を利用し、お越し下さい。

● 日程・内容等は諸事情により予告なく変更になる可能性があります。
● 新型コロナウイルス感染防止対策にご理解・ご協力をお願いします。
※写真はイメージです。

公式HP



詳しくはコチラ

主催 / 第8回世界お茶まつり実行委員会

お問い合わせ先 / 第8回世界お茶まつり実行委員会事務局 〒422-8067 静岡市駿河区南町14-1 水の森ビル3階
Tel: 054-202-1488 Mail: wof@pref.shizuoka.lg.jp URL: <https://www.ocha-festival.jp/2022/>

協賛 アルファクラブ静岡 静岡・お茶の市川園 伊藤園 静岡県のJA 静岡県の信用金庫

鈴与グループ セキサイハイム東海 タカラ・エムシー 中部電力 ハラダ製茶

<トピックス> 業種別の経済・雇用情勢

① 県制度融資の申込状況

(R4年9月26日時点)

区分		申込状況		
		金額	件数	業種別の状況
R2 ～ 3	新型コロナウイルス感染症対応枠(旧) 【R2.2.12～4.17終了】	億円 2,334	件 8,158	卸小売業23.5%、製造業22.0%、建設業17.1%、飲食業12.8%、宿泊・旅行業3.5%、運輸業2.9%等
	国連携新型コロナウイルス感染症対応貸付 【R2.5.1～R3.3.31】	億円 8,064	件 53,666	建設業26.0%、卸小売業19.8%、製造業19.5%、飲食業7.9%、運輸業2.9%、宿泊・旅行業1.3%等
	新型コロナウイルス感染症対応枠(新) 【R2.4.28～R4.3.31】	億円 697	件 4,186	建設業29.7%、卸小売業18.1%、製造業15.5%、飲食業8.7%、運輸業3.7%、宿泊・旅行業2.1%等
	新型コロナウイルス感染症対応伴走支援 特別貸付【R3.4.1～R4.3.31】	億円 278	件 1,776	建設業24.5%、卸小売業21.1%、製造業20.2%、飲食業9.5%、運輸業3.9%、宿泊・旅行業3.2%等
	再生企業支援貸付(新型コロナウイルス 感染症対応枠)【R3.4.1～R4.3.31】	億円 14	件 53	製造業60.4%、卸小売業17.0%、建設業11.3%、運輸業11.3%
R4	新型コロナウイルス感染症対応枠(新) 【R4.4.1～】	億円 79	件 845	建設業37.8%、卸小売業19.9%、製造業13.1%、飲食業5.0%、運輸業3.9%、宿泊・旅行業0.7%等
	新型コロナウイルス感染症対応伴走支援 特別貸付【R4.4.1～】	億円 111	件 773	建設業29.1%、製造業20.3%、卸小売業20.2%、飲食業10.5%、運輸業3.0%、宿泊・旅行業2.2%等
	再生企業支援貸付(新型コロナウイルス 感染症対応枠)【R4.4.1～】	億円 4	件 24	製造業41.7%、建設業20.8%、卸小売業12.5%、飲食業8.3%、宿泊・旅行業4.2%
計		億円 11,581	件 69,481	リーマンショック時：保証料承諾額 1,749億円 (H20.9～H21.8：1年間) 東日本大震災時：保証料承諾額 553億円 (H23.4～H24.3：1年間)

② 県内の新規求人数(季節調整値)の推移

業種別新規求人(一般+パート) 前年同月比の推移

(%)

区分	R3年 9月	10月	11月	12月	R4年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
農・林・ 漁・鉱業	▲7.4	▲15.8	8.6	45.8	▲6.6	43.0	24.8	▲16.7	66.1	26.4	6.8	46.3
建設業	7.9	1.4	6.4	4.1	8.6	2.3	9.4	4.7	4.8	12.7	2.4	▲2.0
製造業	42.0	29.4	45.9	42.2	32.6	39.0	33.0	16.6	19.7	22.8	8.1	10.7
卸売・小売業	11.1	14.6	13.7	10.3	12.6	18.1	20.8	19.2	21.3	50.1	16.7	28.2
金融、保険 不動産業	6.1	▲35.6	35.7	9.7	21.4	13.3	21.3	5.9	8.5	34.5	15.1	▲4.0
運輸業	10.7	23.5	1.8	31.2	36.0	14.1	▲3.7	28.2	13.3	3.7	19.3	▲0.5
情報通信業	4.3	2.8	▲5.4	▲9.6	7.6	▲6.8	2.7	38.2	▲14.6	1.5	▲4.3	▲2.2
飲食、宿泊 サービス業他	4.6	26.2	17.5	17.8	28.3	28.2	10.3	23.1	18.9	22.7	8.3	29.4
県全体	11.5	13.5	17.8	15.2	15.6	20.1	10.8	15.3	16.2	14.7	9.2	13.9

(出典：静岡県内の最近の雇用情勢(静岡労働局))

③ 県内企業の倒産状況

業種別倒産件数(負債金額1千万円以上)の推移

(件)

区分	R3年 9月	10月	11月	12月	R4年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
農・林・ 漁・鉱業	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0
建設業	4	4	7	6	3	1	6	2	2	3	0	1
製造業	3	4	2	2	1	1	3	3	7	4	1	2
卸売・小売業	2	4	2	1	0	1	4	5	3	4	1	1
金融、保険 不動産業	2	1	1	0	1	0	0	0	0	1	0	1
運輸業	0	1	1	0	0	1	1	0	2	0	0	1
情報通信業	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
飲食、宿泊 サービス業他	4	6	5	3	3	2	2	8	4	3	3	3
県全体	15	20	19	13	8	7	16	19	18	15	5	9
うちコロナ 関連倒産	7	2	1	5	2	3	5	6	4	2	2	6

(出典：東京商工リサーチ静岡支店調べ)

II 静岡県主要経済指標の概況

需 要 面

1 個人消費

(1) 大型小売店販売額

7月 = 37,045百万円

*前年同月比： 0.2%増

(県内3百貨店、153スーパー合計)

<概況>

7月の大型小売店販売額は37,045百万円で、前年同月比 0.2%増となり、2か月ぶりに前年実績を上回った。

業態別にみると、スーパー（前年同月比 0.2%減）が4か月連続で前年実績を下回ったものの、百貨店（同 2.7%増）が5か月連続で前年実績を上回った。

商品別では、衣料品（同 1.4%減）が2か月連続、家庭用品（同 7.4%減）が15か月連続で前年実績を下回ったものの、身の回り品（同 0.5%増）が2か月ぶり、飲食品（同 0.2%増）が5か月ぶりに前年実績を上回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は0.5%増と、2か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R3年12月	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
販売額(百万円)	44,977	37,583	33,491	36,202	34,604	36,374	35,424	37,045
前年同月比(%)	▲0.3	0.9	2.2	0.5	0.4	0.3	▲1.5	0.2
うち百貨店(%)	5.9	8.0	▲2.7	0.9	6.5	13.5	1.8	2.7
スーパー(%)	▲1.8	▲0.4	3.0	0.4	▲0.6	▲1.7	▲2.1	▲0.2
(参考1)全国前年同月比(%)	1.4	2.6	0.1	1.5	4.0	8.5	1.3	2.8
うち百貨店(%)	8.9	15.4	▲0.8	4.4	18.6	56.0	11.6	9.4
スーパー(%)	▲1.6	▲1.0	0.4	0.4	▲0.3	▲2.0	▲2.1	0.5
(参考2)県前年同月比(店舗数調整前)	▲0.1	1.4	2.2	0.3	1.2	1.0	▲1.0	0.5

(注1) 販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

(注2) 令和2年3月に調査事業者の見直しを行ったため、前年同月比の計算についてはリンク係数処理済み

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	R3年12月	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
衣料品	▲3.5	4.8	▲11.9	3.5	3.1	4.6	▲2.7	▲1.4
うち紳士服・洋品	▲2.0	6.2	▲10.8	5.3	3.4	8.0	▲2.7	1.2
婦人・子供服・洋品	▲3.7	4.8	▲11.8	1.9	2.0	3.9	▲3.6	▲1.4
身の回り品	▲4.5	2.8	▲12.2	▲1.7	5.3	6.5	▲3.0	0.5
飲食品	▲0.6	▲0.1	3.8	▲0.1	▲0.5	▲0.8	▲2.1	0.2
家庭用品	▲6.4	▲2.4	▲1.2	▲3.9	▲3.6	▲7.3	▲6.6	▲7.4
うち家庭用電気機械器具	▲14.8	▲7.4	▲7.0	▲2.1	▲5.4	▲10.2	▲0.5	▲10.2

(注)店舗数調整済、全月速報値

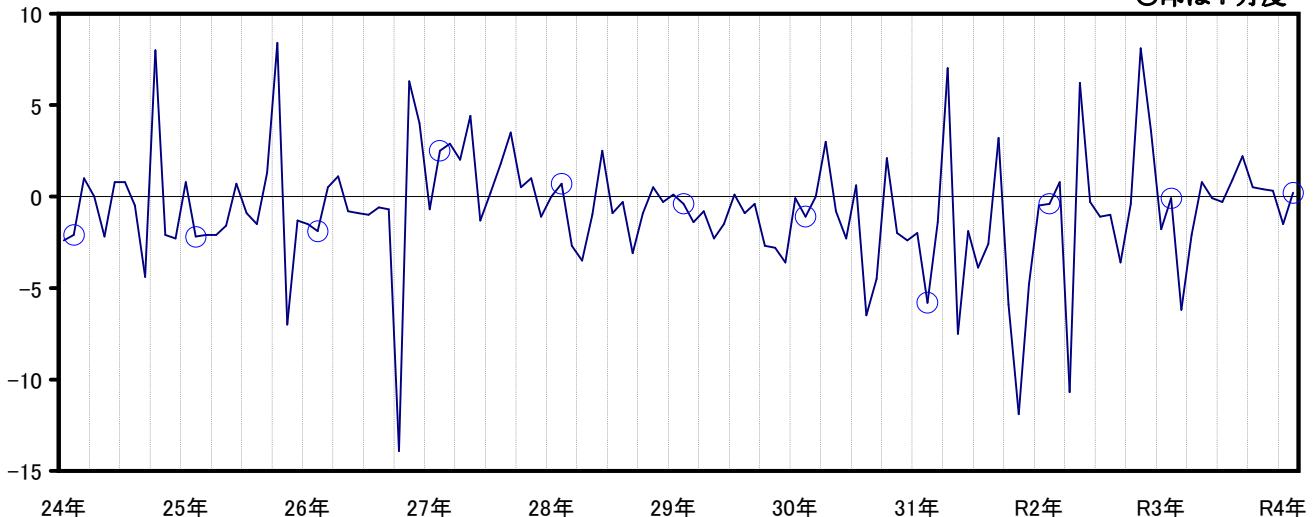
<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省

○印は7月度



(2) 専門量販店等販売額

7月 = 79,845百万円

*前年同月比：3.3%増

(県内93家電大型専門店、1,678コンビニエンスストア、572ドラッグストア、108ホームセンター合計)

<概況>

7月の専門量販店等販売額は79,845百万円で、前年同月比3.3%増となり、7か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、家電大型専門店(前年同月比2.4%減)、ホームセンター(同2.1%減)がいずれも2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、コンビニエンスストア(同3.5%増)が4か月連続、ドラッグストア(同7.1%増)が15か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R3年12月	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
販売額(百万円)	80,951	72,289	65,067	76,072	71,394	74,404	73,672	79,845
前年同月比(%)	▲0.8	2.7	1.6	2.4	1.4	1.2	3.4	3.3
うち家電大型専門店(%)	▲12.3	▲5.2	▲3.2	3.6	▲1.3	▲9.5	3.1	▲2.4
コンビニエンスストア(%)	2.4	2.5	0.5	▲2.2	1.4	3.5	4.0	3.5
ドラッグストア(%)	3.4	8.2	6.2	8.0	4.2	3.7	3.8	7.1
ホームセンター(%)	▲6.9	▲2.9	▲3.7	0.0	▲4.0	▲1.7	1.0	▲2.1
(参考)全国前年同月比(%)	▲0.5	2.0	0.8	2.2	2.0	0.9	3.2	2.4

(注1) 販売額、前年同月比は店舗数未調整

<資料>経済産業省

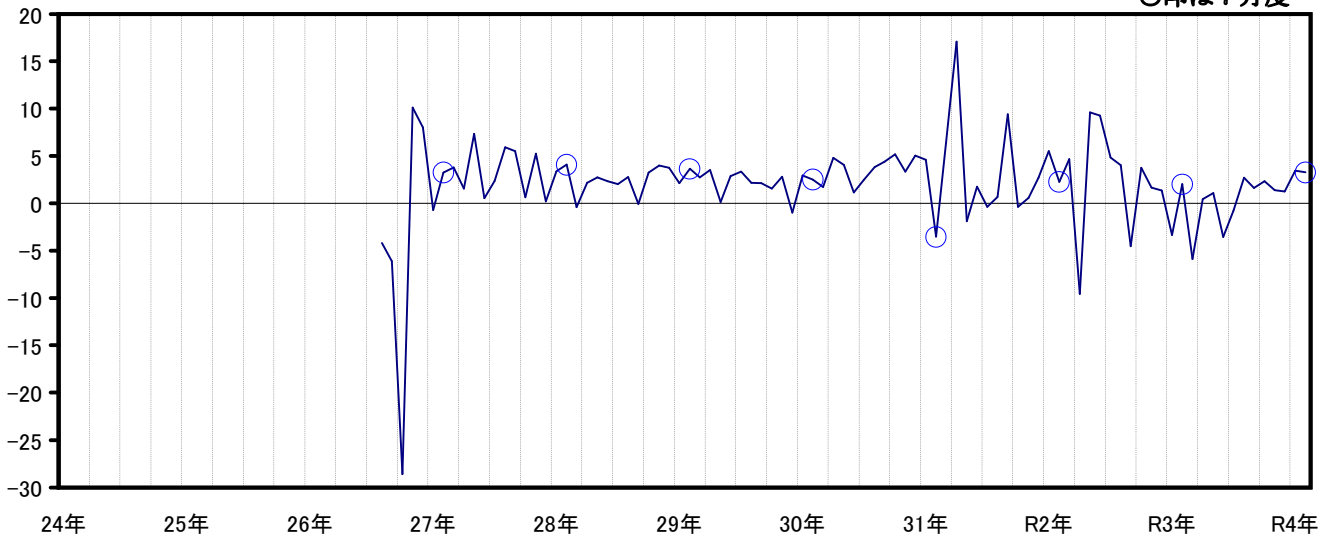
(注2) 平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

<過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省

○印は7月度



(3) 自動車(新車)新規登録台数**7月 = 11,924 台**

*前年同月比： 11.2%減

(乗用車、軽自動車合計)

<概況>

7月の自動車(新車)新規登録台数は11,924台(前年同月比 11.2%減)と、13か月連続で前年実績を下回った。

車種別にみると、乗用車(前年同月比 15.7%減)が11か月連続、軽自動車(同 6.0%減)が13か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R3年12月	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
登録台数(台)	12,175	12,545	13,414	18,091	10,225	9,191	11,368	11,924
前年同月比(%)	▲12.1	▲15.1	▲17.4	▲16.9	▲18.2	▲14.7	▲8.0	▲11.2
(参考)全国前年同月比(%)	▲11.1	▲16.1	▲19.9	▲16.5	▲15.3	▲19.0	▲9.6	▲6.9

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

<車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

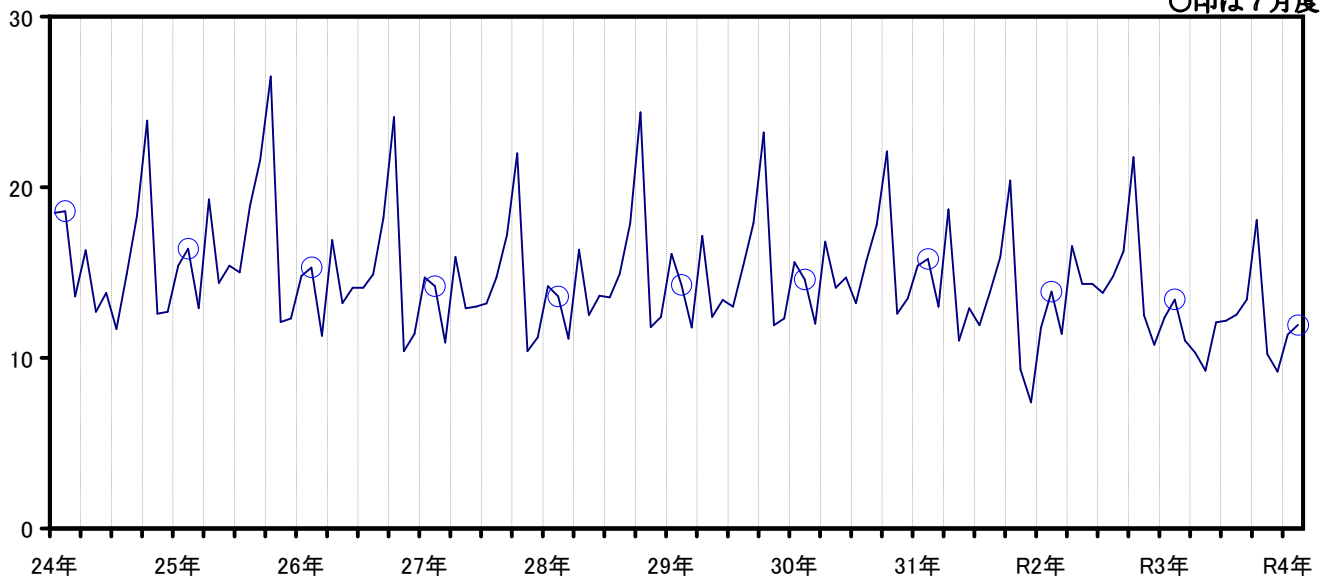
(単位：%)

	R3年12月	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
全乗用車	▲12.1	▲15.1	▲17.4	▲16.9	▲18.2	▲14.7	▲8.0	▲11.2
乗用車	▲16.0	▲16.3	▲21.6	▲16.9	▲26.0	▲16.8	▲10.6	▲15.7
軽自動車	▲6.9	▲13.8	▲13.0	▲16.9	▲9.9	▲12.6	▲5.2	▲6.0

<資料>県税務課

<過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課
○印は7月度

(注) 全国前年同月比は乗用車+軽乗用車

2 新設住宅着工戸数

7月 = 1,852 戸

*前年同月比： 13.5%増

<概況>

7月の新設住宅着工戸数は1,852戸で、前年同月比 13.5%増と、4か月ぶりに前年実績を上回った。

利用関係別にみると、持家（前年同月比 6.2%減）が7か月連続、分譲住宅（同 12.8%減）が5か月ぶりに前年実績を下回ったものの、貸家（同 92.0%増）が2か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R 3年12月	R 4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
戸数 (戸)	1,712	1,301	1,551	1,731	1,706	1,587	1,748	1,852
前年同月比 (%)	▲ 3.8	▲ 21.9	▲ 4.6	5.0	▲ 11.7	▲ 10.6	▲ 4.5	13.5
うち持家 (%)	0.0	▲ 21.1	▲ 6.7	▲ 2.7	▲ 17.0	▲ 4.0	▲ 12.7	▲ 6.2
貸家 (%)	▲ 12.6	▲ 29.9	▲ 0.7	4.5	▲ 20.7	▲ 24.8	3.5	92.0
分譲住宅 (%)	▲ 0.6	▲ 16.0	▲ 4.3	31.6	22.4	0.0	5.7	▲ 12.8
(参考)全国前年同月比 (%)	4.2	2.1	6.3	6.0	2.2	▲ 4.3	▲ 2.2	▲ 5.4

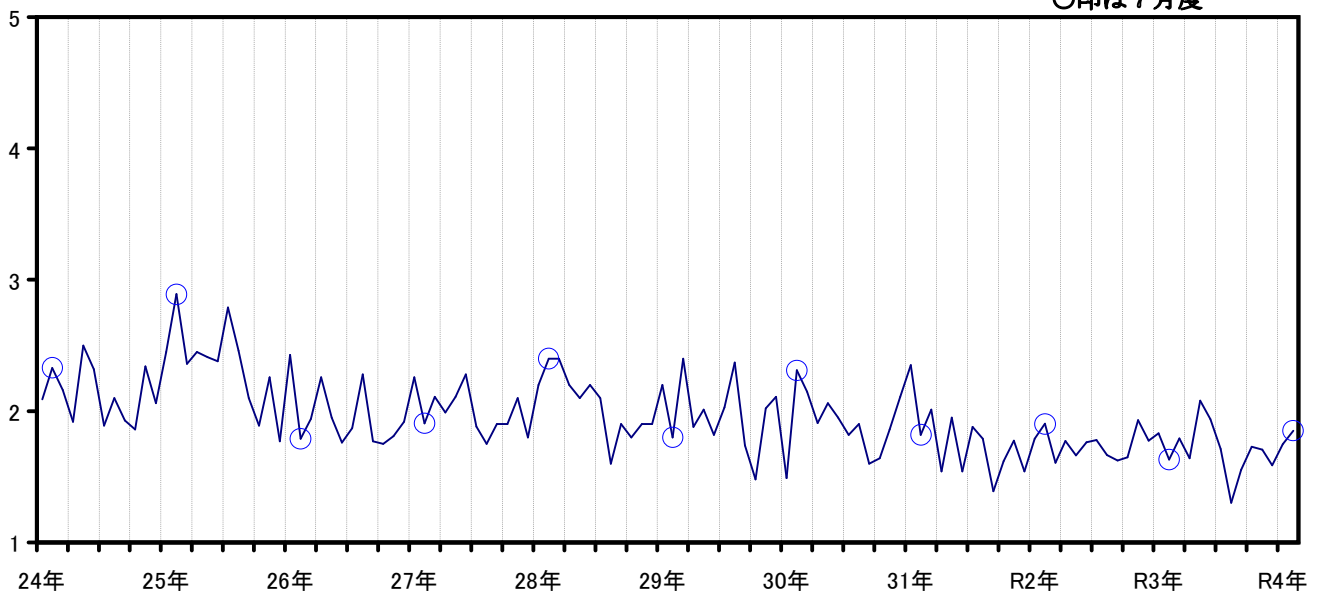
<資料>県住まいづくり課

<過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課

○印は7月度



3 公共工事請負金額

7月 = 30,400百万円

*前年同月比：15.4%減

(建設保証会社保証実績)

<概況>

7月の公共工事の請負金額（工事場所ベース）は30,400百万円で、前年同月比15.4%減となり、4か月連続で前年実績を下回った。また、取扱い件数（工事場所ベース）は730件で、前年同月比13.4%減となり、4か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R3年12月	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
金額（百万円）	18,711	13,879	11,865	25,996	53,327	30,010	33,505	30,400
前年同月比（%）	20.5	45.7	57.8	18.9	▲5.8	▲27.9	▲18.6	▲15.4
年度累計前年同月比（%）	▲14.5	▲13.0	▲11.6	▲10.0	▲5.8	▲15.2	▲16.2	▲16.0
件数（件）	441	236	207	482	519	522	769	730
前年同月比（%）	▲13.7	▲6.7	31.0	4.8	▲24.5	▲12.4	▲0.8	▲13.4
年度累計前年同月比（%）	▲2.5	▲2.7	▲1.9	▲1.5	▲24.5	▲18.9	▲12.1	▲12.4

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

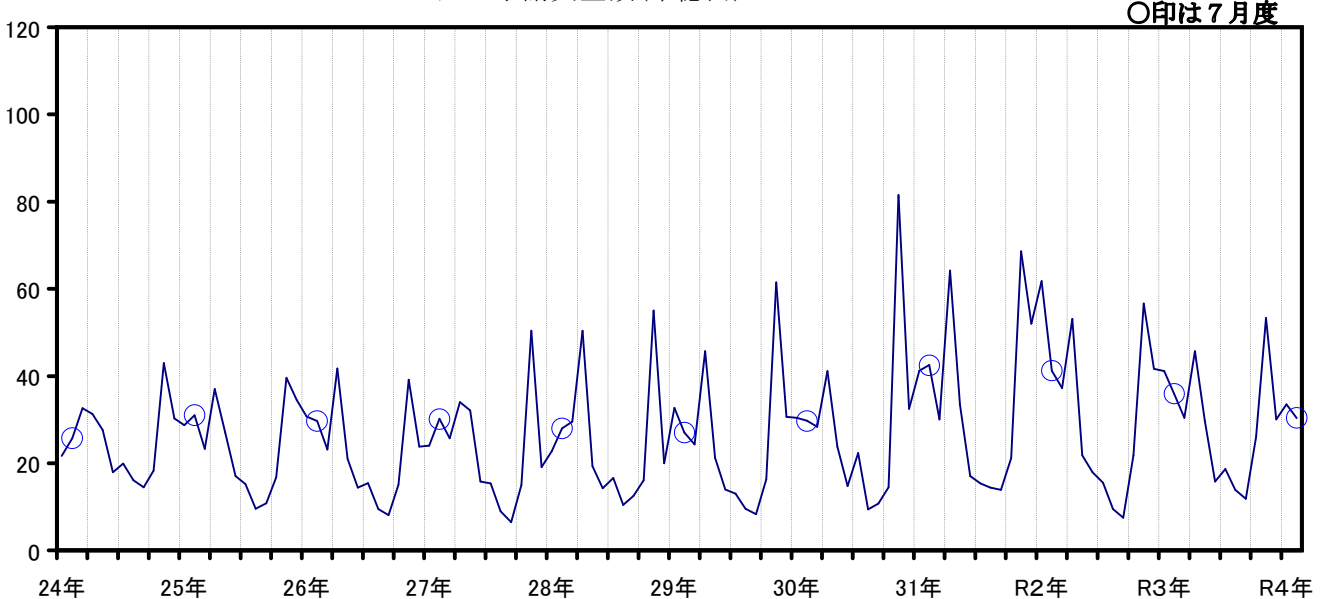
	R3年12月	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
国	▲59.4	14.6	14.0	51.5	▲14.7	▲38.7	▲63.9	▲51.4
独立行政法人等	299.4	72.3	-	940.7	84.7	▲53.2	▲37.3	▲8.6
県	▲0.5	9.4	59.9	▲18.4	▲16.0	▲13.1	4.7	▲23.3
市町	2.4	▲13.6	113.3	9.9	▲18.2	▲2.3	1.5	6.6
地方公社	-	-	-	-	▲90.4	-	▲19.0	206.6
その他	212.3	243.1	▲22.7	54.0	71.5	▲53.7	68.4	▲28.5

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店



4 設備投資

<概況>

令和3年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業で増加、非製造業で減少し、全産業で減少した。ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業で増加、非製造業で減少し、全産業で増加した。

令和4年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業（前年度比 48.5%増）、非製造業（同 13.7%増）、全産業（同 31.4%増）においていずれも増加する計画となっている。また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業（前年度比 28.5%増）、非製造業（同 16.1%増）、全産業（同 25.2%増）においていずれも増加する計画となっている。

7月の着工建築物床面積（非居住用）は245,468㎡で、前年同月比 126.6%増となり、2か月ぶりに前年実績を上回った。

<企業短期経済観測調査結果>（前年度比% 設備投資（含む土地投資）

		R3年度 (実績)	R4年度 (計画)
全産業	県	(▲5.4) ▲1.4	(7.4) 31.4
	全国	(▲5.1) ▲0.8	(7.4) 14.1
製造業	県	(▲9.8) 8.8	(14.3) 48.5
	全国	(▲6.1) 1.1	(3.8) 20.5
非製造業	県	(▲0.3) ▲10.1	(▲0.8) 13.7
	全国	(▲4.6) ▲1.9	(9.8) 10.5

（ ）内は前回調査比修正率) ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）

		R3年度 (実績)	R4年度 (計画)
全産業	県	(▲6.1) 1.9	(7.2) 25.2
	全国	(▲3.8) 1.2	(5.5) 13.1
製造業	県	(▲7.7) 6.0	(9.8) 28.5
	全国	(▲3.4) 2.9	(3.7) 14.6
非製造業	県	(▲1.2) ▲8.0	(▲0.3) 16.1
	全国	(▲4.2) ▲0.7	(7.6) 11.5

(注1) 平成29年3月調査分から半期計数の掲載を取り止め、年度計数のみを掲載

(注2) 平成29年3月調査分から「ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）」を追加

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(令和4年6月調査)」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」(令和4年6月調査)」

<最近の動き>

	R3年12月	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	125,604	94,343	66,037	97,183	99,878	130,880	106,649	245,468
前年同月比（%）	119.6	34.6	▲4.4	▲17.2	7.3	97.4	▲7.2	126.6
(参考) 全国前年同月比（%）	33.1	▲3.8	11.0	▲15.1	15.6	▲8.4	12.0	22.0

(注3) 着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料> 国土交通省

<参考 県内企業の業況判断D. I. >

		R4年3月	R4年6月	R4年9月 (予測)
全産業	製造業	▲5	▲6	▲1
	非製造業	▲5	▲12	▲7
		▲5	0	4
(参考) 全国・全産業		0	2	▲1

(注4) 業況判断D. I. : 「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(令和4年6月調査)」

5 輸出

7月 = 229,489百万円

*前年同月比： 6.5%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

7月の清水税関支署管内の輸出総額は229,489百万円で、前年同月比 6.5%増となり、2か月連続で前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、自動車の部分品（前年同月比 19.2%減）が6か月ぶりに前年実績を下回ったものの、原動機（同 45.5%増）が5か月連続、エアコン（同 73.3%増）、自動車（同 6.3%増）、科学光学機器（同 0.1%増）がいずれも2か月連続、二輪自動車類（同 64.7%増）が9か月連続で前年実績を上回った。

地域別にみると、アジア向け（同 5.7%減）が5か月連続で前年実績を下回ったものの、米国向け（同 29.1%増）、EU向け（同 20.0%増）がいずれも2か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R 3年12月	R 4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
輸出総額(百万円)	198,268	157,955	185,214	228,526	214,017	182,437	224,345	229,489
前年同月比(%)	▲ 5.3	▲ 6.3	▲ 4.6	3.1	5.7	▲ 8.2	3.2	6.5

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R 3年12月	R 4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
原動機	▲ 8.3	27.4	▲ 8.1	17.5	40.2	9.2	40.5	45.5
エアコン	11.8	▲ 30.8	1.8	14.5	33.9	▲ 0.2	18.6	73.3
自動車	▲ 10.3	▲ 12.8	▲ 35.7	▲ 39.4	2.3	▲ 24.3	70.7	6.3
自動車の部分品	▲ 11.7	▲ 3.0	17.0	29.8	22.0	1.2	4.5	▲ 19.2
二輪自動車類	4.8	49.4	5.1	32.3	32.8	8.6	16.8	64.7
科学光学機器	19.6	13.7	11.8	29.9	24.5	▲ 7.4	22.9	0.1

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R 3年12月	R 4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
アジア	▲ 0.7	▲ 19.2	8.0	▲ 3.4	▲ 6.4	▲ 7.1	▲ 6.6	▲ 5.7
米国	8.6	10.6	▲ 8.9	29.1	42.8	▲ 2.8	30.3	29.1
EU	▲ 31.3	▲ 3.2	▲ 22.7	▲ 5.8	▲ 4.0	▲ 26.2	0.2	20.0

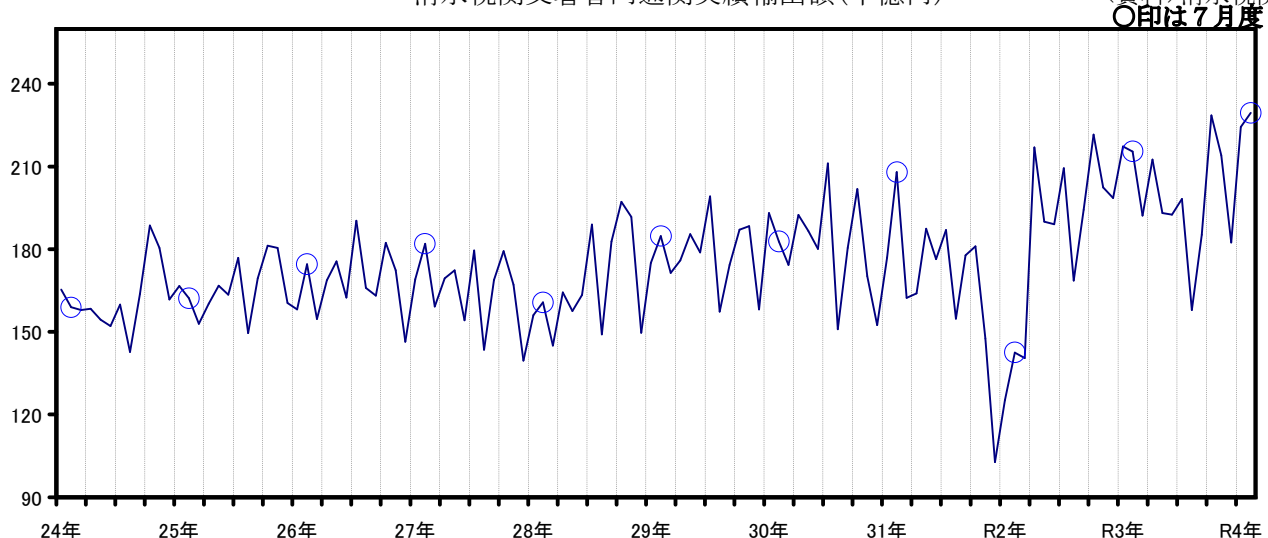
<資料>清水税関支署

(注) 管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。
なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署



6 輸入

7月 = 120,776百万円

*前年同月比： 18.7%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

7月の清水税関支署管内の輸入総額は120,776百万円で、前年同月比 18.7%増となり、18か月連続で前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、自動車の部分品（前年同月比 8.5%減）が5か月連続で前年実績を下回ったものの、魚介類及び同調製品（同 24.7%増）、紙類及び同製品（同 43.2%増）がいずれも4か月連続、木材（同 29.9%増）が17か月連続、パルプ（同 36.3%増）が16か月連続、原動機（同 21.1%増）が18か月連続で前年実績を上回った。

地域別では、アジア向け（同 21.4%増）が4か月連続、米国向け（同 31.9%増）が3か月連続、EU向け（同 9.0%増）が2か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R3年12月	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
輸入総額(百万円)	104,807	104,107	97,614	110,295	138,439	123,731	134,587	120,776
前年同月比(%)	27.8	29.2	21.8	3.4	36.4	31.8	35.3	18.7

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R3年12月	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
魚介類及び同調製品	66.6	▲ 13.2	37.8	▲ 2.6	65.0	15.0	96.0	24.7
木材	85.6	79.1	76.2	25.0	37.7	77.1	59.6	29.9
パルプ	53.4	63.6	44.2	92.7	49.5	65.1	33.4	36.3
紙類及び同製品	21.4	18.4	20.2	▲ 17.2	1.6	15.2	24.2	43.2
原動機	14.2	224.1	66.5	162.2	89.5	49.7	74.6	21.1
自動車の部分品	▲ 5.3	▲ 47.6	0.4	▲ 26.5	▲ 16.5	▲ 7.6	▲ 44.2	▲ 8.5

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

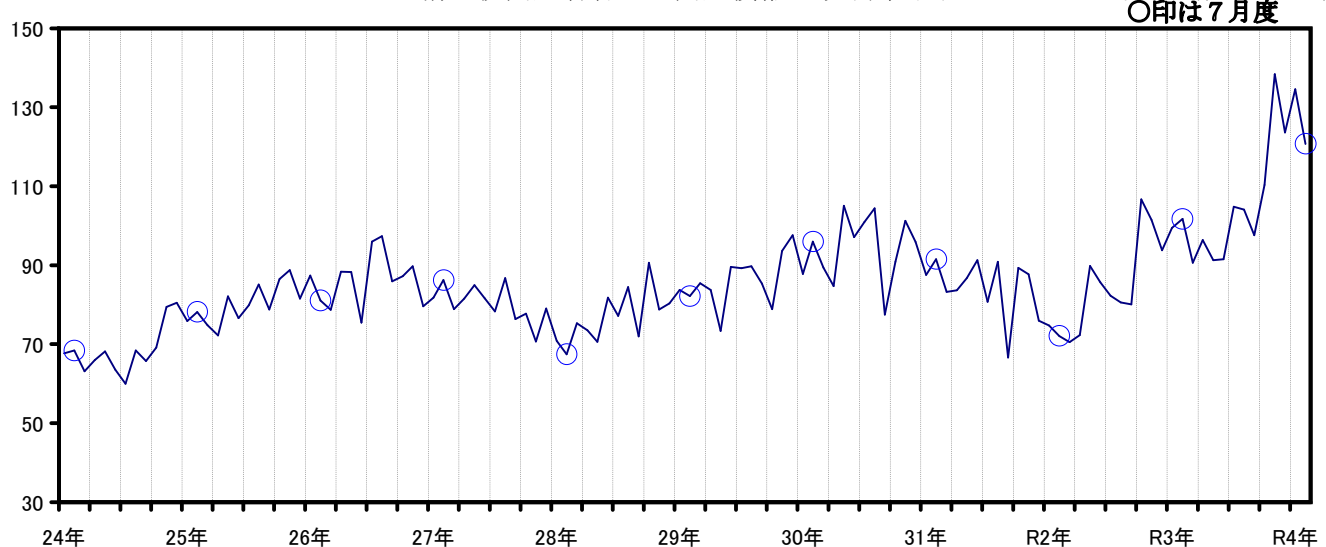
	R3年12月	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
アジア	15.7	29.2	15.5	▲ 3.9	18.2	47.4	15.2	21.4
米国	25.6	10.5	20.9	13.1	▲ 7.3	2.4	61.0	31.9
EU	64.8	23.3	60.8	31.3	102.4	▲ 1.8	53.3	9.0

<資料>清水税関支署

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署



生産面

1 生産

(1) 鉱工業生産指数

7月 = 91.6

(平成27年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 3.0%減

*前年同月比(原指数) : 0.7%減

<概況>

7月の鉱工業生産指数(総合)は91.6(季節調整済指数)で、前月比は3.0%減と、2か月ぶりに減少した。また、前年同月比(原指数)は0.7%減と、2か月ぶりに前年水準を下回った。業種別にみると、電気機械(前年同月比14.0%増)が13か月ぶり、輸送機械(同9.9%増)が2か月連続で前年水準を上回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同17.1%減)、化学(同6.8%減)がいずれも6か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同2.3%減)が15か月ぶり、食料品・たばこ(同10.8%減)が2か月ぶりに前年水準を下回った。

<最近の動き>

	R3年12月	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
指数	86.5	85.1	88.8	89.7	92.3	81.3	94.4	91.6
前月比(%)	▲2.5	▲1.6	4.3	1.0	2.9	▲11.9	16.1	▲3.0
前年同月比(%)	▲6.4	▲8.6	▲3.1	▲8.0	▲11.9	▲8.3	0.5	▲0.7
(参考)全国前年同月比(%)	2.7	▲0.5	0.5	▲1.7	▲4.9	▲3.1	▲2.8	▲2.0

(注)平成27年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R3年12月	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲3.2	3.8	▲12.2	▲8.0	▲9.9	▲15.0	▲0.2	▲17.1
電気機械工業	▲13.5	▲9.7	▲7.0	▲5.6	▲22.6	▲30.0	▲15.4	14.0
輸送機械工業	▲11.7	▲26.3	▲1.4	▲14.6	▲15.8	▲3.4	8.9	9.9
化学工業	1.0	6.4	▲6.5	▲5.4	▲18.7	▲2.0	▲4.1	▲6.8
パルプ・紙・紙加工品工業	2.0	1.8	1.6	1.3	1.4	2.7	4.4	▲2.3
食料品・たばこ工業	▲1.2	5.2	9.1	▲2.2	0.1	▲8.1	11.3	▲10.8

(注)平成27年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

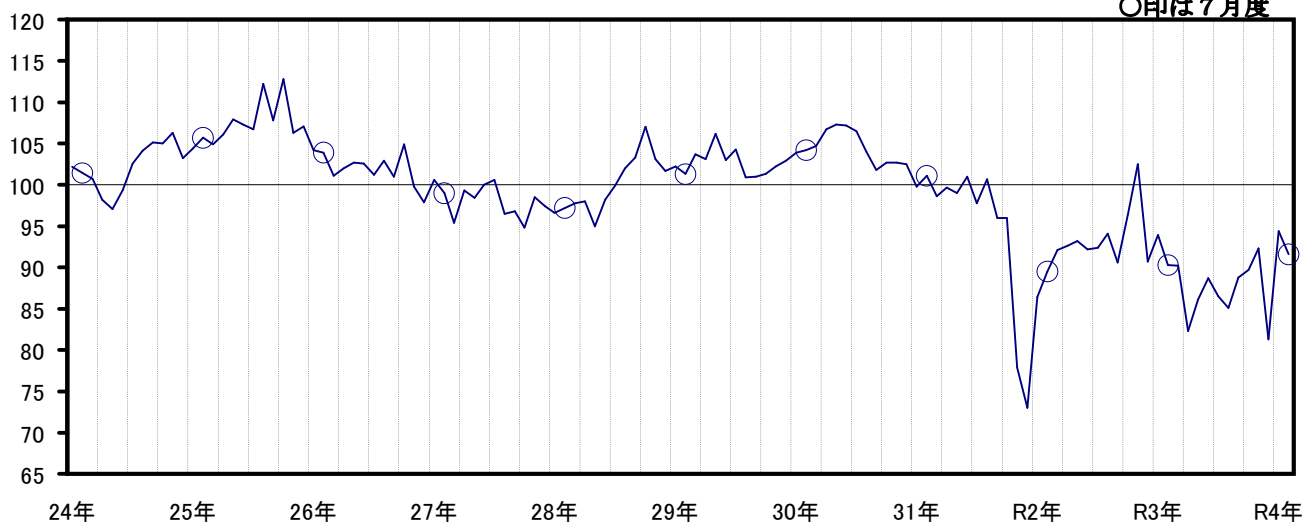
<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、平成27年=100)

<資料>県統計調査課

○印は7月度



(2) 鋳工業在庫指数

7 月 = 105.8

* 前月比 (季節調整済指数) : 3.9%増

(平成27年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

* 前年同月比 (原指数) : 6.5%増

<概況>

7月の鋳工業在庫指数(総合)は105.8(季節調整済指数)で、前月比は3.9%増と、3か月ぶりに増加した。また、前年同月比(原指数)は6.5%増と、2か月ぶりに前年水準を上回った。なお、在庫動向を在庫循環図で見ると、今期は「在庫調整局面(景気後退期)」に該当する。業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比 23.9%減)が6か月連続、化学(同 6.3%減)が3か月ぶり、パルプ・紙・紙加工品(同 1.9%減)が14か月連続で前年水準を下回ったものの、電気機械(同 6.6%増)が2か月連続、輸送機械(同 38.2%増)が2か月連続、食料品・たばこ(同 43.0%増)が2か月ぶりに前年水準を上回った。

<最近の動き>

	R 3年12月	R 4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
指数	101.1	99.9	103.3	100.7	106.4	105.8	101.8	105.8
前月比 (%)	▲ 2.9	▲ 1.2	3.4	▲ 2.5	5.7	▲ 0.6	▲ 3.8	3.9
前年同月比 (%)	▲ 2.8	▲ 6.3	▲ 3.4	0.0	1.1	3.6	▲ 0.8	6.5
(参考)全国前年同月比 (%)	5.0	4.6	7.1	6.8	4.1	3.8	4.2	5.1

(注) 平成27年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料> 県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R 3年12月	R 4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
はん用・生産用・業務用機械工業	1.8	0.0	▲ 23.8	▲ 26.9	▲ 26.1	▲ 28.3	▲ 19.8	▲ 23.9
電気機械工業	▲ 9.6	2.7	2.5	▲ 5.2	3.0	▲ 1.0	1.9	6.6
輸送機械工業	▲ 18.6	▲ 46.8	5.2	8.5	▲ 13.0	▲ 3.6	4.3	38.2
化学工業	1.6	▲ 6.1	▲ 8.9	10.6	▲ 2.6	8.4	4.1	▲ 6.3
パルプ・紙・紙加工品工業	▲ 4.2	▲ 2.0	▲ 6.4	▲ 9.2	▲ 7.1	▲ 4.7	▲ 1.2	▲ 1.9
食料品・たばこ工業	▲ 10.8	▲ 2.3	3.3	5.4	26.9	28.3	▲ 1.3	43.0

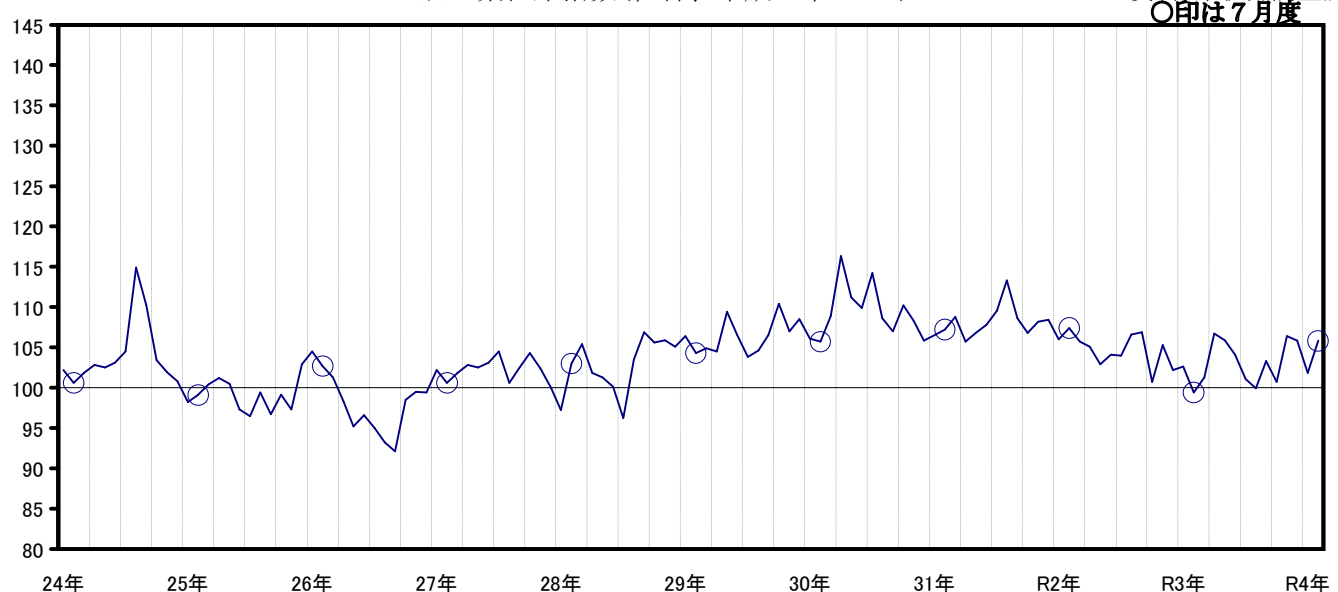
(注) 平成27年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料> 県統計調査課

<過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、平成27年=100)

<資料> 県統計調査課



雇 用 面

1 雇 用

(1) 有効求人倍率

7 月 = 1.31倍

*前月比（季節調整値）： 0.00ポイント増

（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）

<概 況>

7月の有効求人倍率（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）は1.31倍となり、前月と同水準となった。18か月連続で1倍台となった。また、5か月連続で全国値を上回った。新規求人（学卒、パートタイムを除く）（前年同月比 5.2%増）は16か月連続で前年実績を上回った。

産業別にみると、サービス業（他に分類されないもの）（前年同月比 7.3%減）が18か月ぶりに前年実績を下回ったものの、建設業（同 3.0%増）が22か月連続、製造業（同 7.4%増）が18か月連続、情報通信業（同 6.5%増）が2か月連続、運輸業・郵便業（同 7.1%増）が4か月連続、卸売業・小売業（同 18.0%増）が14か月連続、医療・福祉（同 3.2%増）が17か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

（単位：倍）

	R 3年12月	R 4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
県	1.14	1.18	1.21	1.24	1.27	1.28	1.31	1.31
全 国	1.17	1.20	1.21	1.22	1.23	1.24	1.27	1.29

（注）季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<資料>厚生労働省

<産業別新規求人前年同月比の推移>

（単位：%）

	R 3年12月	R 4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
建 設 業	4.7	8.3	3.8	8.5	7.8	7.7	11.0	3.0
製 造 業	48.7	33.4	38.1	41.0	14.7	13.8	21.7	7.4
情 報 通 信 業	▲ 5.5	8.2	▲ 10.7	▲ 2.2	50.0	▲ 20.6	8.7	6.5
運 輸 業 ・ 郵 便 業	33.1	24.3	13.8	▲ 4.6	14.6	8.7	7.0	7.1
卸 売 業 ・ 小 売 業	7.0	25.7	13.1	22.8	29.4	14.3	58.0	18.0
医 療 ・ 福 祉	17.6	8.2	21.6	8.3	14.9	14.4	1.5	3.2
サービス業（他に分類されないもの）	23.3	24.7	20.4	14.6	20.1	6.6	7.9	▲ 7.3
合 計	17.4	17.1	20.2	12.9	15.7	10.6	14.6	5.2

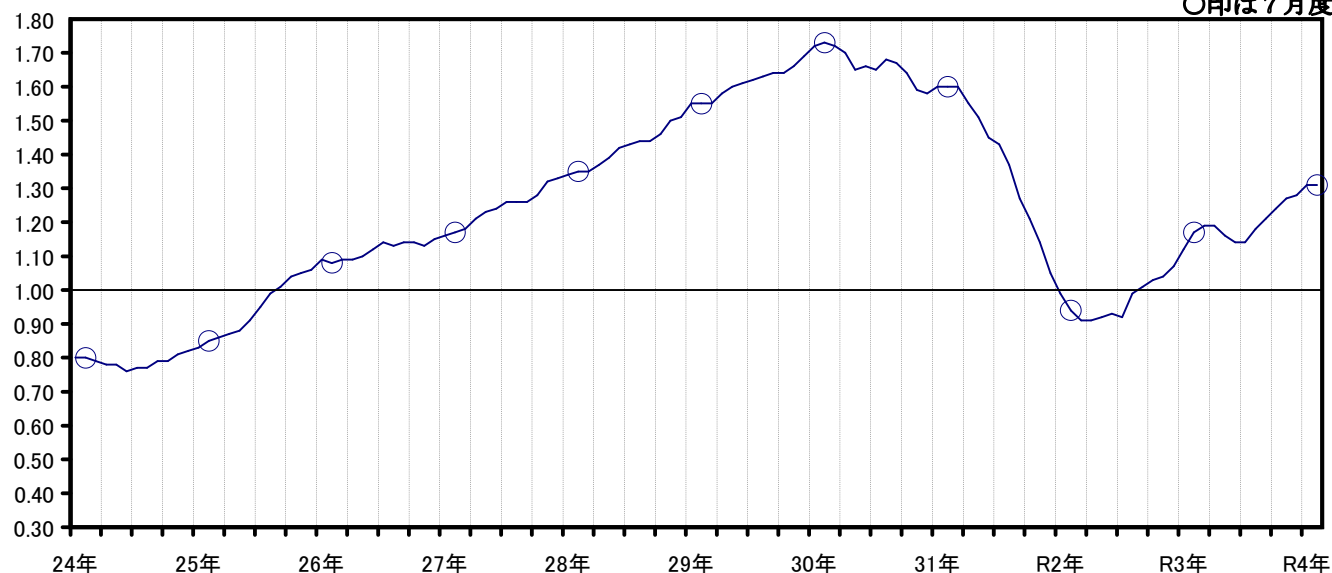
（注）学卒、パートタイムを除く

<資料>厚生労働省

<過去10年間の推移>

有効求人倍率（学卒を除き、パートタイムを含む）（倍）

<資料>厚生労働省



(2) 雇用保険受給者実人員

7月 = 11,952人

*前月比: 3.9%増

*前年同月比: 9.3%減

<概況>

7月の雇用保険受給者実人員は11,952人で、前月比は3.9%増と、3か月連続で前月を上回った。また、前年同月比は9.3%減と14か月連続で前年実績を下回った。
 完全失業率(全国)は2.6%と前月と同水準であった。
 静岡県(令和4年1~3月)の完全失業率は2.2%で、前期(令和3年10~12月)から0.1ポイント改善した。

<最近の動き>

	R3年12月	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
実人員(人)	11,196	11,015	10,541	10,594	10,011	10,377	11,498	11,952
前月比(%)	▲2.5	▲1.6	▲4.3	0.5	▲5.5	3.7	10.8	3.9
前年同月比(%)	▲18.3	▲17.5	▲15.7	▲15.4	▲17.6	▲14.1	▲10.7	▲9.3
(参考)全国前年同月比(%)	▲13.0	▲11.6	▲13.9	▲15.2	▲15.8	▲10.7	▲11.1	▲9.6

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	R3年12月	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
完全失業率(全国)(%)	2.7	2.8	2.7	2.6	2.5	2.6	2.6	2.6

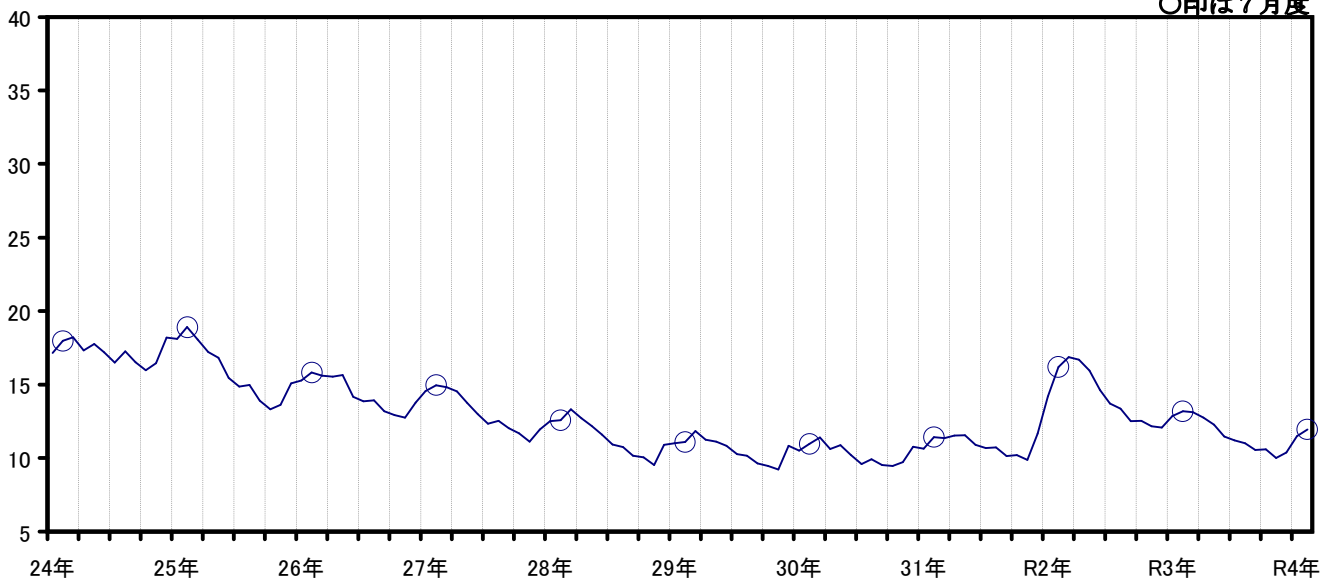
(注)季節調整値

<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省
○印は7月度



(3) 所定外労働時間指数

6 月 = 119.0

*前月比(季節調整済指数)： 1.6%減

(令和2年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) *前年同月比(原指数) : 9.9%増

<概況>

6月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は119.0(季節調整済指数)で、3か月ぶりに前月を下回った。また、前年同月比(原指数)は9.9%増と、7か月連続で前年実績を上回った。

業種別にみると、建設業(前年同月比26.4%減)が8か月連続、運輸業・郵便業(同7.5%減)が3か月連続で前年実績を下回ったものの、製造業(同2.3%増)が7か月連続、情報通信業(同0.7%増)が3か月ぶり、卸売業・小売業(同41.5%増)が12か月連続、医療・福祉(同11.2%増)が6か月連続、その他のサービス業(同44.7%増)が3か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R3年11月	12月	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月
指数	102.0	104.9	114.8	116.6	113.3	115.6	120.9	119.0
前月比(%)	▲0.7	2.8	9.4	1.6	▲2.8	2.0	4.6	▲1.6
前年同月比(%)	0.0	4.5	11.3	18.6	6.4	5.4	13.1	9.9
(参考)全国前年同月比(%)	6.1	7.0	7.1	7.0	4.9	6.4	5.1	5.9

*令和2年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R3年11月	12月	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月
建設業	▲3.6	▲24.5	▲16.2	▲12.3	▲33.8	▲37.8	▲26.5	▲26.4
製造業	▲8.7	3.7	13.4	14.4	7.5	2.0	3.8	2.3
情報通信業	▲31.9	▲11.8	1.6	▲17.7	0.4	▲19.3	▲2.9	0.7
運輸業・郵便業	30.2	34.6	▲17.7	0.7	0.4	▲4.5	▲7.1	▲7.5
卸売業・小売業	37.6	29.2	60.8	28.0	11.2	38.1	71.5	41.5
医療・福祉	▲12.5	▲5.7	13.2	34.0	25.1	12.5	21.1	11.2
その他のサービス業	36.0	25.7	31.4	48.1	▲13.6	8.5	34.9	44.7
調査産業計	0.0	4.5	11.3	18.6	6.4	5.4	13.1	9.9

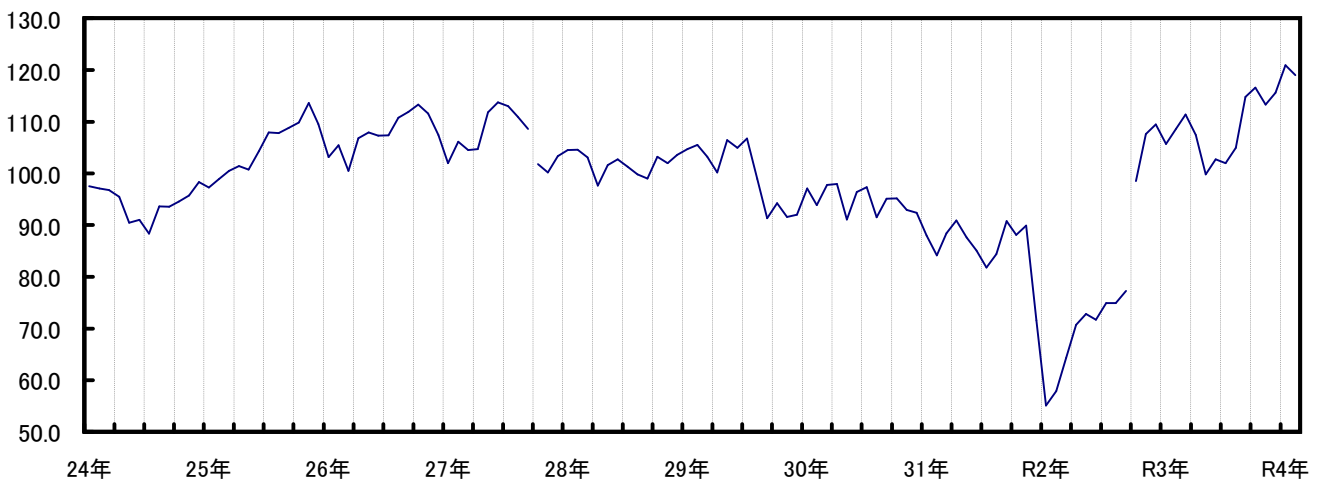
*令和2年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、令和2年=100)

<資料>県統計調査課



そ の 他

1 物 価

国内企業物価指数

8 月 = 115.1

*前 月 比: 0.2%上昇

(令和2年=100)

*前年同月比: 9.0%上昇

<概 況>

8月の国内企業物価指数は115.1となり、前月比は0.2%の上昇となった。また、前年同月比は9.0%の上昇となった。

	R 4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
国内企業物価指数	109.4	110.3	111.4	113.1	113.1	114.1	114.9	115.1
前 月 比 (%)	0.9	0.8	1.0	1.5	0.0	0.9	0.7	0.2
前年同月比 (%)	9.1	9.4	9.4	9.8	9.2	9.4	9.0	9.0

<資料>日本銀行

2 金 融

(1) 県内金融機関貸出残高

7 月 = 142,647億円

*前 月 比: 0.2%増

(銀行、信用金庫)

*前年同月比: 0.6%減

<概 況>

7月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は142,647億円で、前月比は0.2%の増加となった。また、前年同月比は0.6%の減少となった。

	R 3年12月	R 4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
貸出残高(億円)	143,456	142,566	142,439	142,425	142,184	142,065	142,433	142,647
前 月 比 (%)	0.6	▲ 0.6	▲ 0.1	▲ 0.0	▲ 0.2	▲ 0.1	0.3	0.2
前年同月比 (%)	▲ 1.7	▲ 1.9	▲ 2.0	▲ 1.7	▲ 1.4	▲ 1.3	▲ 0.9	▲ 0.6

<資料>日本銀行静岡支店

(2) 貸出約定金利

7 月 = 1.329%

*前 月 差: 0.005ポイント減

(県内地銀4行総平均)

*前年同月差: 0.077ポイント減

<概 況>

7月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は1.329%で、前月から0.005ポイントのマイナスとなった。なお、前年同月差は0.077ポイントのマイナスとなった。

	R 3年12月	R 4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
貸出約定金利 (%)	1.373	1.370	1.364	1.355	1.349	1.344	1.334	1.329
前月差(ポイント)	▲ 0.011	▲ 0.003	▲ 0.006	▲ 0.009	▲ 0.006	▲ 0.005	▲ 0.010	▲ 0.005
前年同月差(ポイント)	▲ 0.062	▲ 0.064	▲ 0.066	▲ 0.070	▲ 0.071	▲ 0.072	▲ 0.075	▲ 0.077

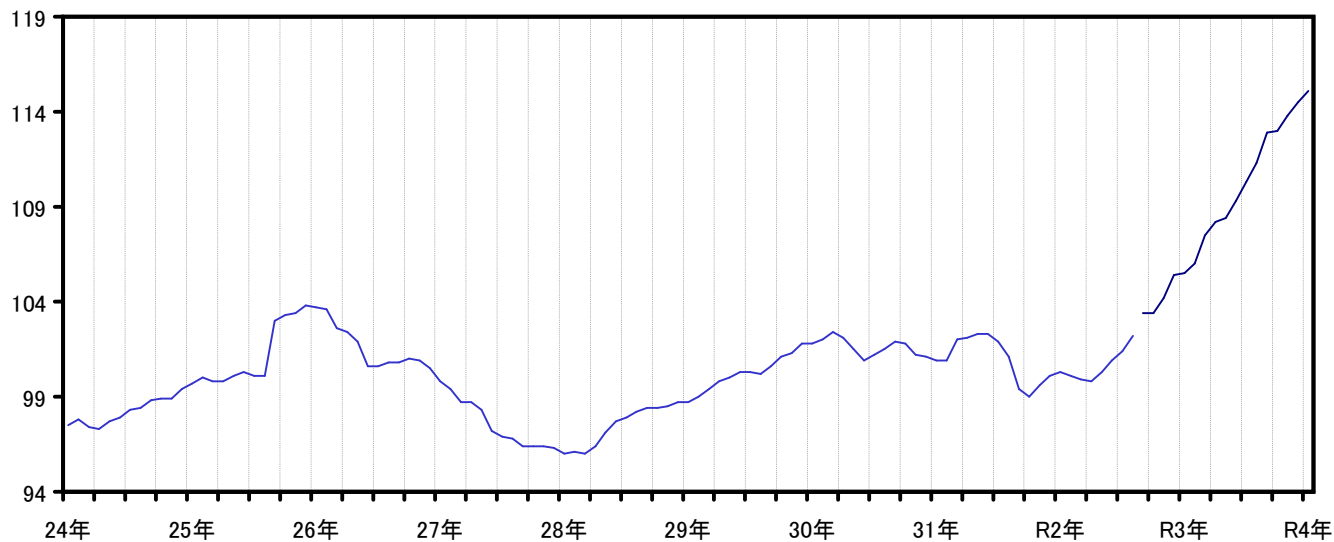
(注) 貸出約定金利は、金融庁報告ベースに過去に遡及して変更

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

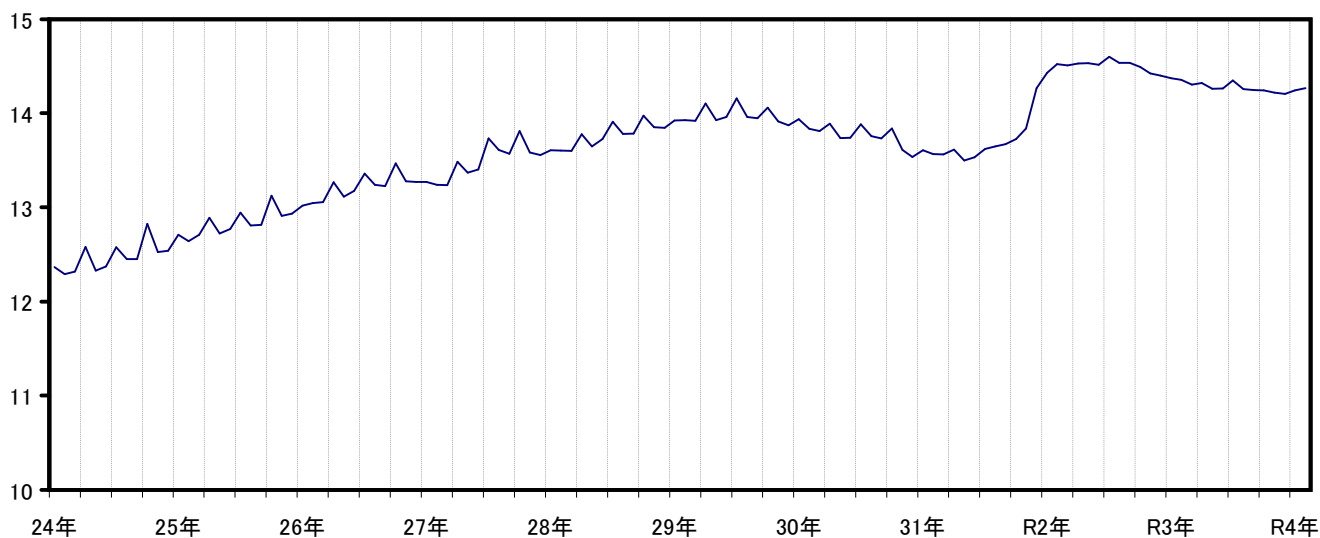
国内企業物価指数(令和2年=100)

<資料>日本銀行



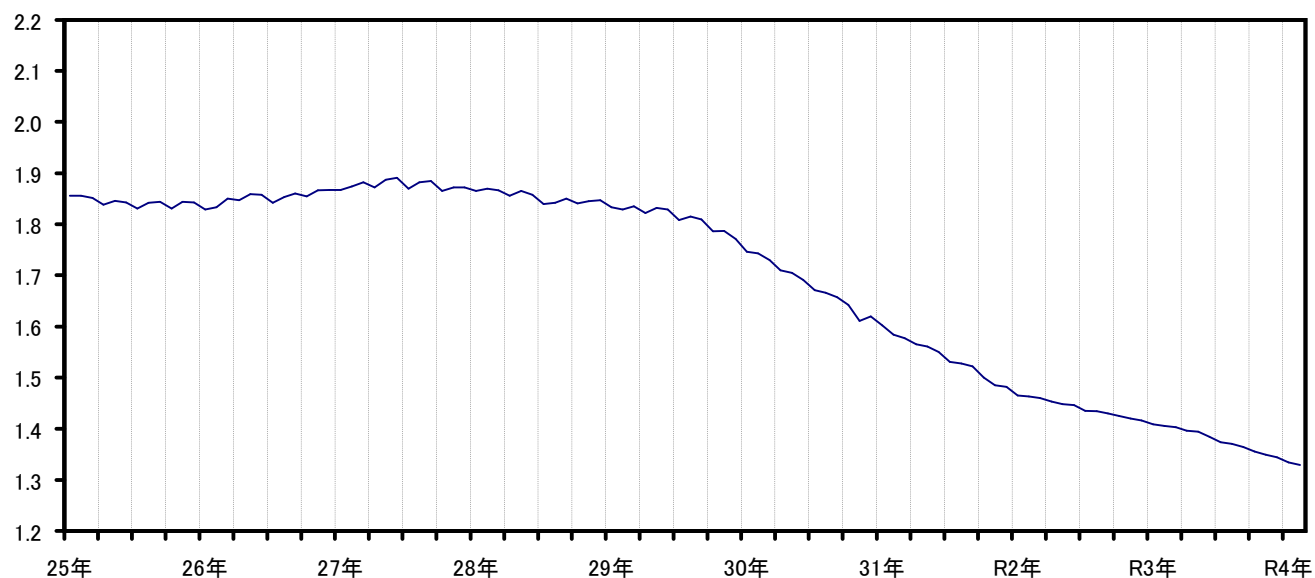
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



(3) 信用保証協会保証金額**7月 = 23,461百万円**

*前年同月比：165.5%増

<概況>

7月の保証承諾は、金額は23,461百万円（前年同月比165.5%増）、件数は1,740件（同123.8%増）と、いずれも29か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R3年12月	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
保証金額(百万円)	24,407	13,162	17,160	26,609	32,414	34,448	33,533	23,461
前年同月比(%)	43.2	44.8	23.1	22.2	91.9	282.7	229.2	165.5
保証件数(件)	2,240	1,279	1,611	2,390	1,696	1,898	2,030	1,740
前年同月比(%)	42.9	46.2	30.2	30.1	60.7	158.6	132.9	123.8

<資料>県信用保証協会

(4) 円相場**8月 = 135.24円/ドル**

(東京・銀行間直物中心・平均)

*前月差：1.39円高

*前年同月差：25.40円安

<概況>

8月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は135.24円で、前月と比べて1.39円の円高となり、8か月ぶりに円高となった。

<最近の動き>

	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
平均相場(円)	114.83	115.20	118.51	126.04	128.78	133.86	136.63	135.24
前月差(円)	0.96	0.37	3.31	7.53	2.74	5.08	2.77	▲1.39
前年同月差(円)	11.13	9.84	9.86	16.91	19.59	23.75	26.34	25.40

▲…円高

(注)東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

3 企業経営**企業倒産件数****8月 = 9件**

*前年同月比：12.5%増

<概況>

8月の負債総額1,000万円以上の企業倒産は、件数は9件（前年同月比12.5%増）、負債総額は2,080百万円（同149.1%増）と、いずれも前年実績を上回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が7件と全体の77.8%を占め、2か月ぶりに50%以上となっている。

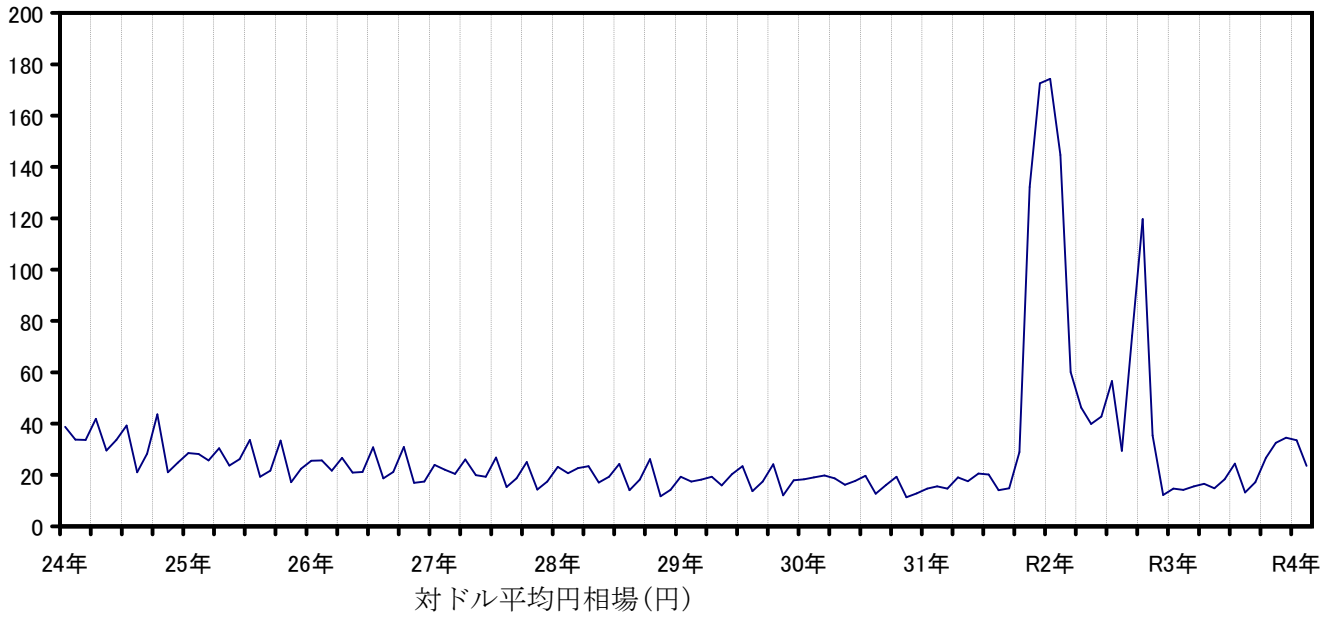
	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
倒産件数(件)	8	7	16	19	18	15	5	9
前年同月比(%)	▲46.6	▲46.1	▲11.1	5.5	20.0	15.3	▲61.5	12.5
うち不況型倒産件数(件)	8	6	14	14	13	11	2	7
負債総額(百万円)	1,799	746	1,507	5,953	1,875	1,935	175	2,080
前年同月比(%)	▲87.9	▲76.3	▲47.0	96.5	▲24.7	25.3	▲86.1	149.1

<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社

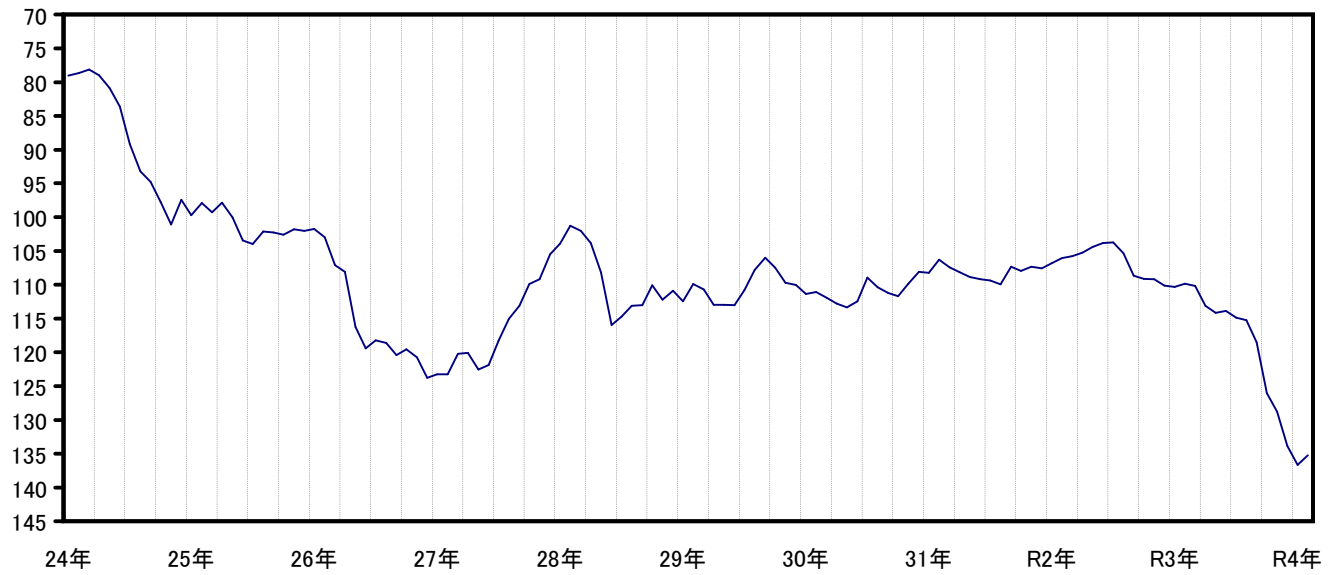
<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会

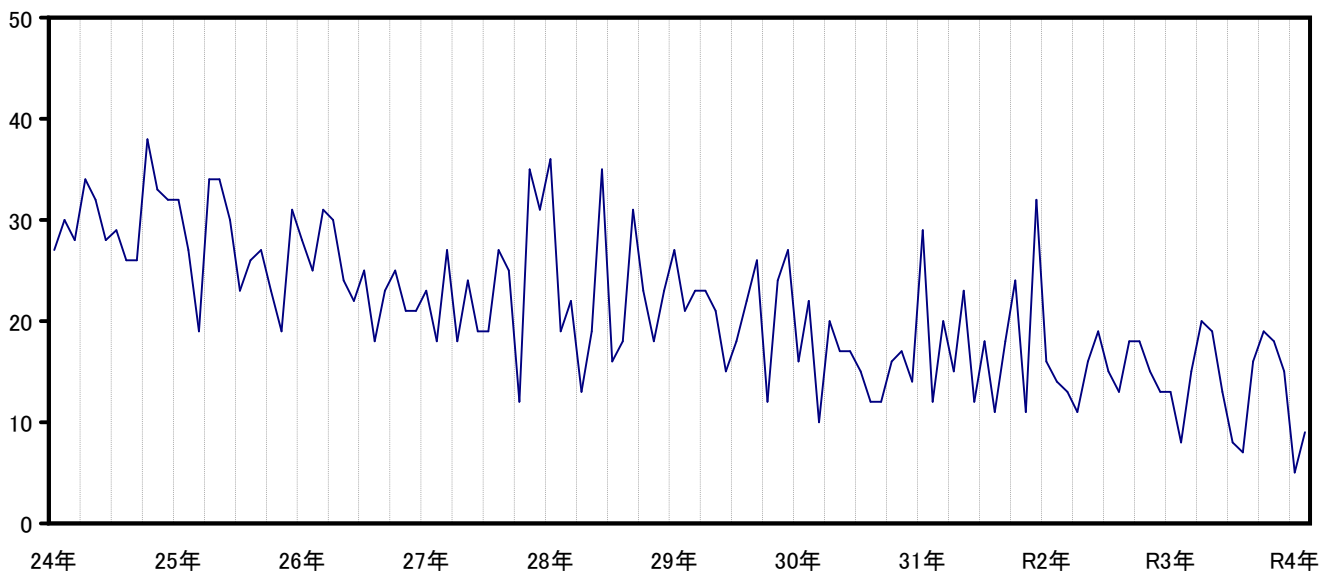


対ドル平均円相場(円)



企業倒産件数(件)

<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



Ⅲ 令和4年7月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車	<p>6月の国内二輪車生産台数は、49,028台（前年同月比 14.5%減）で、6か月連続で前年実績を下回った。原付第一種（50cc以下）は、10,546台（同 6.0%減）で、2か月ぶりに前年実績を下回った。原付第二種（51cc～125cc）は、4,901台（同 41.4%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。軽二輪車（126cc～250cc）は、5,009台（同 47.7%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。小型二輪車（251cc以上）は、28,572台（同 13.5%減）で、6か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは、29,200台（同 18.4%減）で、3か月連続で前年実績を下回った。輸出向けは、28,065台（同 17.0%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車	<p>6月の自動車国内生産台数は、668,628台（前年同月比 9.3%減）と、11か月連続で前年実績を下回った。輸出は308,462台（同 14.5%減）と、6か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>国内生産は、乗用車が11か月連続、トラックが4か月連続で前年実績を下回ったことから、全体でも11か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>7月の冷蔵庫の国内出荷額は488億円（前年同月比 8.6%増）で、3か月ぶりに前年実績を上回り、国内出荷台数は398千台（同 3.4%増）で、3か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>7月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは1,453千台（同 7.6%増）で、4か月ぶりに前年実績を上回った。業務用は84千台（同 2.0%減）で、7か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>7月の携帯電話の国内出荷台数は、1,415千台（同 27.9%増）で、11か月ぶりに前年実績を上回った。うち、スマートフォンは、1,253千台（同 52.8%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。単月のスマートフォン比率は 88.5%であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、J E I T A / C I A J</p>
生産用機械	<p>7月の工作機械の受注総額は、1,424億1,200万円（前年同月比 5.5%増）で、21か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>内訳をみると、外需は904億4,200万円（同 0.9%増）で、21か月連続で前年実績を上回った。アジア向けが424億300万円（同 0.6%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。内需は519億7,000万円（同 14.5%増）で、17か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>県内中小企業や関連団体からは、「仕事量は多少増加してきているが、原材料や光熱費の値上げが痛い。」という声が聞かれた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>

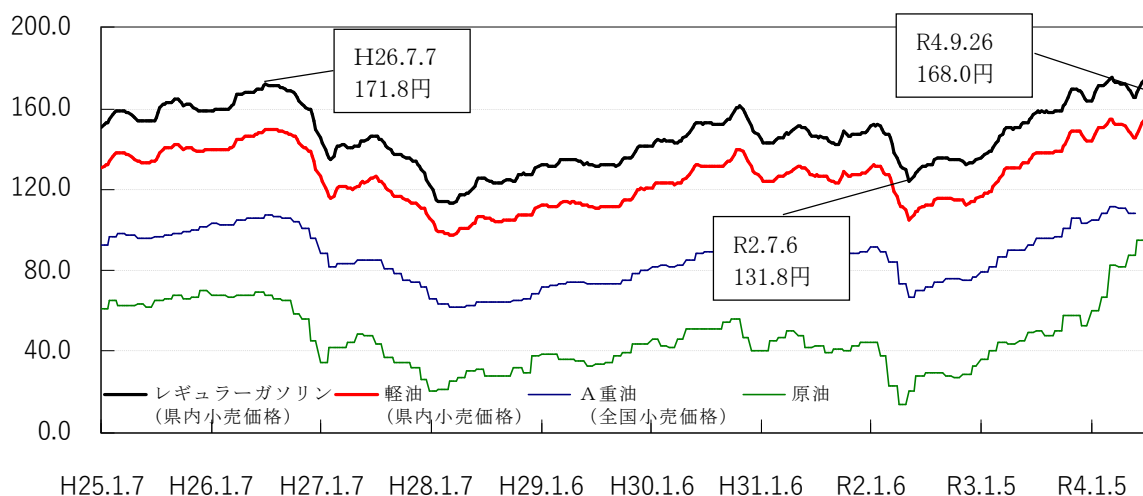
業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>7月の県内楽器メーカーの販売金額は、55億8,788万円（前年同月比1.7%増）で、2か月ぶりに前年実績を上回った。内訳は輸出向けが32億5,917万円（同2.3%減）で、国内向けが23億2,871万円（同7.8%増）であった。</p> <p>ピアノ生産台数は3,546台（同3.1%増）であった。機種別では、アップライトピアノが2,465台（同4.5%増）、グランドピアノが1,081台（同0.1%増）であった。また、販売台数は、輸出向けが2,643台（同7.7%減）、国内向けが1,116台（同12.3%増）であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>7月の紙・板紙の国内出荷高は、1,806千トン（前年同月比2.2%減）で、2か月ぶりに前年実績を下回った。内訳は、紙は856千トン（同3.4%減）で、4か月連続で前年実績を下回った。板紙は950千トン（同1.1%減）と、3か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、453千トン（同1.4%減）で、2か月ぶりに前年実績を下回った。ティシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、142千トン（同3.1%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」</p>
缶詰・飲料	<p>7月の県内生産量は、食缶類が国内向け1,010千箱（前年同月比1.6%減）と4か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は709千箱（同0.8%減）と3か月連続で前年実績を下回った。うち主力であるツナ缶は460千箱（同5.7%減）と、17か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は301千箱（同3.6%減）と2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが7,926千箱（同3.0%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県缶詰協会</p>
織 維	<p>7月の広幅織物の県内生産は、736千㎡（前年同月比10.8%増）で、5か月連続で前年実績を上回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、676千㎡（同13.4%増）で、5か月連続で前年実績を上回った。別珍・コールテンの生産は、59千㎡（同12.2%減）で、4か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>小幅織物の県内生産は、15千㎡（同7.4%増）で、3か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>
家 具	<p>7月の全国百貨店での家具販売額は、41億7,641万円（前年同月比2.3%増）と4か月連続で前年実績を上回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、570億4,038万円（同2.5%増）と3か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会</p>

業 種	産 業 動 向
小 売 業	<p>7月の県内百貨店・スーパーの販売額は、37,045百万円（既存店前年同月比 0.2%増）と前年実績を上回った。品目別に見ると、衣料品、家庭用品が前年実績を下回ったものの、身の回り品、飲食料品が前年実績を上回った。</p> <p>西部の百貨店への聞き取りによると、前年同月と比較して売上げが減少したが、来客数は増加した。特に、家庭用品や身の回り品の売上げが好調だった。一方、雑貨（化粧品、美術・宝飾、貴金属等）の売上げが減少した。</p> <p>中部の食品スーパーへの聞き取りによると、前年同月と比較して売上げが増加したが、来客数は前年並みだった。コロナ禍で中食需要が高まり、弁当・総菜の売上げが好調だった。また、原材料高騰の影響を受け、弁当など加工食品を中心に一部の商品は値上げをした。</p> <p>東部の専門店への聞き取りによると、前年同月と比較して売上げが増加したが、来客数は減少した。外出自粛の緩和により、季節物の衣料品や映画館等サービス施設の売上げが好調だった。</p> <p>（資料） 関東経済産業局、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>令和4年7月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約27万人で、前年同月比 6.1%増となった。</p> <p>本年7月は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言等が発令されなかったことから、昨年度よりも増加していると考えられる。</p> <p>主要有料道路（4路線^{※1}）の合計通行車両数は、約61万台となり、前年同月比 0.4%減となった。</p> <p>※1 令和元年10月から（遠州大橋（新掛塚橋）が令和元年9月28日から無料化）。</p> <p>＜資料＞ 静岡県観光政策課</p>

＜原油高の状況について＞

新型コロナウイルス感染症からの経済活動再開に伴う需要増大や、海外情勢の不安定化などにより原油価格が上昇。

足もとの県内ガソリン等小売価格は、レギュラー168.0円/Lと、平成26年7月以来の高水準。



出典：石油情報センター

IV データからみた県内主要産業

<二輪車>

	R 3年11月	12月	R 4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
完成車生産台数(台)	27,103	25,792	21,054	27,056	27,994	23,172	17,058	26,716	27,659
前年同月比(%)	30.3	46.2	▲ 0.9	7.5	▲ 5.2	▲ 2.7	2.4	16.9	22.4
KD輸出額(百万円)	1,427	1,504	1,433	1,621	1,940	1,931	1,132	890	988
前年同月比(%)	24.4	▲ 5.4	2.5	▲ 4.0	39.0	40.3	44.3	▲ 16.6	▲ 15.3

<楽 器>

	R 3年11月	12月	R 4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
生産総額(百万円)	3,056	2,964	2,788	2,922	3,233	3,126	2,667	3,177	3,207
前年同月比(%)	8.6	4.1	29.2	7.6	7.7	▲ 0.2	1.8	▲ 4.6	4.6

<缶 詰>

	R 3年11月	12月	R 4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
食缶生産高(千ケース)	1,005	880	883	936	1,030	1,053	936	1,089	1,010
前年同月比(%)	0.4	▲ 8.3	6.6	2.6	1.7	▲ 1.0	▲ 3.1	▲ 2.5	▲ 1.6
うち水産缶詰(%)	0.5	▲ 4.2	4.7	2.9	2.1	1.4	▲ 5.0	▲ 2.6	▲ 0.8
農畜産缶詰(%)	0.1	▲ 16.9	10.7	1.7	0.9	▲ 6.3	1.8	▲ 2.3	▲ 3.6
飲料缶生産高(千ケース)	6,195	5,511	4,720	6,091	7,432	7,057	7,686	7,918	7,926
前年同月比(%)	3.6	▲ 9.8	1.3	18.0	▲ 4.3	▲ 13.9	▲ 2.3	5.9	3.0

<織 維>

	R 3年11月	12月	R 4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
広幅織物(千㎡)	814	765	747	659	768	728	677	739	736
前年同月比(%)	3.5	5.0	▲ 5.1	▲ 12.0	7.6	3.5	2.3	8.2	10.8
小幅織物(千㎡)	13	14	15	16	17	17	17	17	15
前年同月比(%)	▲ 23.7	▲ 28.1	▲ 26.8	▲ 12.5	▲ 6.8	▲ 3.8	13.5	6.9	7.4

<観 光>

	R 3年11月	12月	R 4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
延べ宿泊者数 (千人泊)	1,561	1,707	1,299	989	1,498	1,377	1,465	1,202	1,693
前年同月比(%)	▲ 4.6	19.5	81.8	40.7	22.6	32.9	33.8	30.8	23.3
観光施設(10施設)入込 (千人)	442	309	272	197	411	416	528	248	266
前年同月比(%)	▲ 7.2	14.2	32.1	▲ 32.3	9.1	0.8	22.8	14.5	6.1
有料道路(4路線)通行 量(千台)	608	617	519	465	623	549	625	544	609
前年同月比(%)	▲ 1.1	10.2	21.3	▲ 1.1	12.3	4.5	11.9	9.8	▲ 0.4

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

静岡県公式ホームページ⇒統計・調査⇒統計センターしずおか⇒県内主要統計指標
<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・専門量販店等販売額	・鉱工業在庫指数	・雇用保険受給者実人員	・県内金融機関貸出残高
・自動車新規登録台数		・完全失業率	・信用保証協会保証金額
・新設住宅着工戸数		・所定外労働時間指数	・企業倒産件数
・清水税関支所管内輸出額			
・清水税関支所管内輸入額			

提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	http://www.ejcs.co.jp/region/index.html
設備投資	日本銀行静岡支店	http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	http://www.boj.or.jp/type/statat/boj_stat/index.htm
円相場		

参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	http://www.meti.go.jp/statistics/index.html
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	http://www.mof.go.jp/siryou.htm
国際収支		
機械受注	内閣府	http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html
完全失業率	厚生労働省	http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告
令和4年9月号 通巻557号

発行 静岡県経済産業部
令和4年9月

編集 経済産業部政策管理局産業政策課
〒420-8601
静岡市葵区追手町9-6
TEL 054-221-2635
FAX 054-221-3217
E-mail sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp
URL <https://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>